

平成 27 年度 市政懇談会（庄原地域 庄原会場）

会 場	庄原市民会館
日 時	平成 27 年 9 月 8 日（火）
出席者数	参加者 71 人、市 17 人
共通テーマ	メインテーマ：「第 2 期庄原いちばん基本計画について」 サブテーマ：～第 2 期庄原いちばん基本計画の概要と高齢者向けのアンケート結果について～
地域テーマ	自治振興センターの建設・整備及び大規模改修について
懇 談 内 容	
<p>■共通テーマ</p> <p>メインテーマ：「第 2 期庄原いちばん基本計画について」</p> <p>サブテーマ：～第 2 期庄原いちばん基本計画の概要と高齢者向けのアンケート結果について～</p> <p>（参加者）</p> <p>いちばん基本計画について、林産資源の活用について触れられていないのはなぜか。山林の価値が無いのは、山林の基盤整備ができていないからだと個人的に考えている。</p> <p>次に高齢者向けコンパクトシティについて、木山市長がコンパクトシティに着手されたことは、心強く感じており敬意を表したい。田舎を捨てると思われがちだが、そうでは無いと私は思っている。高齢者が住んで良かったと実感できるよう期待をしている。</p> <p>それから、観光について駅前整備に取り組まれている。市の玄関口であり、国営公園へのアクセスの重要な事業である。玄関口の機能を発揮できるよう早期完成をめざして欲しい。</p> <p>（市）</p> <p>林産資源の活用について、いちばん基本計画概要版には触れていないが、基本計画には計上しており、森林整備加速化事業などの国・県の事業を活用し森林の基盤整備に努めているところである。森林組合を中心とした森林の経営計画や集約化の取り組みのほか、林業振興計画に基づいて市として森林資源の活用を進めている。</p> <p>（市）</p> <p>高齢者向けコンパクトシティだが、決して地域を切り捨てるのではなく、いかに高齢者の方に安心して元気で暮らしていただけるのか検討を進めている。説明したアンケート結果は分析中であり、分析後は地域特性に応じた高齢者向けコンパクトシティについて検討していきたい。</p>	

(市)

観光に関することについてだが、駅前バスと鉄道の結節点である。現在の駅舎には観光案内の機能が無い状況である。再開発が終了し、駅舎の改修が済めば案内機能の整備を検討していきたい。

市内を訪れる観光客の多くは自家用車利用である。そういった意味で庄原の玄関口となるのは、食彩館しょうばらゆめさくらである。平成28年度からは、施設の設置目的を観光交流の拠点施設として位置づけ、観光振興を進めていきたい。

(参加者)

庄原いちばん基本計画の中の持続可能な農業への支援について、有害鳥獣対策の強化があげられているが、イノシシのフェンスの中にわれわれが住んでいるような状況である。それでも被害が出ている。農地が荒れ、山が荒れれば鳥獣の被害が出るのは必然である。

この状況を逆手にとれないのか。ジビエを活用し産業化ができないのか。猟師の補強や捕獲したイノシシの活用を考えられないか。食肉として活用する環境整備をしていくことはできないか。

(市)

ジビエの活用であるが、加工施設として休校施設が活用できないかという提言をいただいたこともあり、情報収集、検討を重ねているところである。市としては検討しているものの施設を建設するまでに至っていないのが現状である。

イノシシ等の捕獲については、捕獲班による捕獲や自衛での捕獲を行っているが、なぜイノシシが増加するのかについては、エサになるものが畑などに残っていることなども要因となっており、適切な防除を身につけていただく啓発なども行っているところである。

(参加者)

庄原いちばん基本計画の資料の子育て祝い金の欄に「見」とあるがこの意味は何か。また、地域づくり活動の支援の中に大学生の活用がある。まちづくりに参加するために拠点を整備するとあるが、拠点ではなく組織の育成の間違いではないか。

(市)

「見」については、見直しの略である。拡充は「拡」、新規は「新」としている。

(市)

県立広島大学庄原キャンパスの学生を市内に引き込んでいきたいと考えている。学生が市内で集える拠点を想定しており、この拠点を中心に学生が活躍できる場づくりを考えている。

(参加者)

庄原いちばん基本計画について、理念についてと長期総合計画にどう位置づけられているのかお伺いしたい。理念の「やっぱり庄原がいちばんええよのう」は裏を返せば、市民の中にある不平・不満は言うなど聞こえる。この理念部分について心豊かに未来志向に聞こえる表現にしてもらいたい。また、長期総合計画の位置づけについて、どちらが優先して実施されるのかお聞きしたい。

また、自治振興区活動のあり方について、市議会総務財政常任委員会で自治振興区は市の補助金に頼る状態から脱却すべきとこれまで議論してきたがどうかとの質問に、市当局からは、いつまでも補助金に頼るのではなく、自主財源確保をする中で活動を進めて欲しいと考えているとの回答があった。市としては、各自治振興区で自主財源を確保して自治振興区活動を進めるべきと考えているのか。

(市)

理念だが、裏を返して言われるような理念だとは考えていないし、理念の表現を変更する予定はない。また、長期総合計画との関係だが、上位計画として長期総合計画があり、その中の施策の中から新たな視点や先ほど説明した 3 つの柱で整理して、最優先で実施する事業を取りまとめたものである。

(市)

自治振興区活動のための補助金について、補助金をやめるという意味ではなく、自主財源の確保に向けた取り組みを自治振興区でも行っていただきたいという思いである。例えば、会費の徴収や公益法人が行っている事業への挑戦などを意図しているものである。

■地域テーマ

「自治振興センターの建設・整備及び大規模改修について」

【地域テーマについて自治振興区から説明】

(自治振興区)

市は市内 22 自治振興区のセンターを順次整備されている。庄原自治振興区は 33 自治会あり、市内で最大の自治振興区である。昨年、エレベーターの整備をしていただき利便性が向上したが、ホールやパブリックスペースが無く、他の施設を利用しなくてはならない状況である。自治振興区役員会の会場も無い状況である。

昨年、併設する市民会館とは切り離れた自治振興センターの改築・改修を要望している。市の方針など回答いただいていない。区民が納得できる回答をいただきたい。

(市)

庄原自治振興センターは昭和 51 年に中央公民館として建設され 39 年が経過している。平成 19 年度から庄原自治振興センターに移行している。平成 26 年度に 2 階の利活用を目

的にエレベーターを設置している。平成 26 年 9 月に自治振興センター改築の要望をいただいているが、市民会館との一体的な建物となっており、今後の市民会館のあり方も含め総合的に判断する必要がある。現在、市民会館・自治振興センターがどうあるべきか検討しているところであり、整備の内容など回答することができない状況である。ご理解いただきたい。

(参加者)

今の説明は市民会館との関係で説明されているが、自治振興区をどう考えどう評価しているのか、今後どうしていくのか方針が見えない。自治振興区のあり方の説明がない。われわれは自治振興区を運営していくうえで必要なものを要望している。中央公民館活動も自治振興区が担っていることも含め、自治振興区組織がどうあるべきか方針を示して欲しい。

(市)

自治振興区のあり方だが、市内で最大の自治振興区で、活発な活動を行われており、振興センターが拠点となっていることは認識している。要望されている内容であるが、現に市民会館と一体的な建物であり、今後市民会館も含め総合的に判断していかなくてはならないと考えている。

(参加者)

答えになっていない。われわれの要望が不当な要望なのかどうか答えて欲しい。

(市)

正当な要望と理解している。要望の中身について自治振興区と協議させていただく必要があると考えている。

(参加者)

自治振興センターについて、凍結された総合福祉センターも含め複合型のまちづくりセンターを検討されてどうか。ボランティアの活用も検討して欲しい。

(市)

自治振興センターの使い勝手が悪くご迷惑をおかけしている。庄原地域内の 5 自治振興区合同の市政懇談会でも自治振興センターの改修について強く要望があった。他の自治振興センターの改修とのかねあいもあり、庄原自治振興センターを大規模改修するのか改築するのか現段階で明確に回答するのは難しい。

(参加者)

第 2 期長期総合計画は今から策定されるのか。庄原自治振興区は自分たちの会議室も無

い状況、そういった状況をいちばんに考えて欲しい。人口と振興センターの面積を判断材料としていただき、長期総合計画に盛り込んでいただきたい。

(市)

平成 28 年度からの第 2 期長期総合計画を現在策定中で、第 2 期長期総合計画の実施計画を整理しているところである。調整中であるので時期を見てお話しさせていただきたい。

(参加者)

回答の中で、市民会館との一体整備という説明があったが、このことは自治振興区内で議論しており、自治振興区としてはまったく別ものとして考えている。別のもとして検討いただきたい。

(市)

意向はよく理解できる。現実には一体的な建物であり検討が必要である。

(参加者)

いちばん基本計画に庄原自治振興区の要望が計上されていない理由を聞きたい。

昨年度の事前要望でも要望している。市民会館の利用状況など、勘案するなかで検討したいと回答されているが 1 年を経過している。どのような検討がなされたのかお聞きしたい。

これまで担当課と協議しながら進めてきているが、継続性が確保されていないように感じる。行政の継続性についてお聞きしたい。

(市)

自治振興センターの整備について、他の自治振興センターの事業については、第 1 期長期総合計画の実施計画に計上されていた事業である。平成 27 年度が最終年で 28 年度以降の事業は現在調整中であり、いちばん基本計画に計上していない。

(市)

検討内容だが、利用状況を勘案しひとつにはエレベーターを設置させていただいた。それ以降、要望書で要望いただいた内容も含め改修・改築について検討している。改修で 5 億 4 千万円、改築であれば 6 から 10 億円必要であると検討をしているところである。

(参加者)

いつになったら、基本的な考え方が教えていただけるのか確認したい。

(市)

実施計画の整理が年内には済む予定である。今は全体の聞き取りを行っている状況なの

ではっきりとお答えできないが、12月にはお話しができるのではと考えている。

■市長まとめ

庄原いちばんづくりで、満足感のある庄原にしたい。満足感は数値で計ることができるのだろうか。数値ではなく市民の皆さんの意向をどうくんで行くか、そのために庄原いちばんづくりを訴えてきている。

住民の皆さんが望むものを素早く進めるため3つの柱で事業を進めてきている。農業など一定の成果があると考えている。

市長となって2年が経過した。これからの2年を考えたときに、庄原市の姿をどうするか示していきたい。そのために、庄原地域を中心地として宣言した。また、コンパクトシティについても打ち出した。さらに比婆いざなみ街道構想を検討し、庄原市の素晴らしさを積極的にPRしていきたい。

自治振興センターの改修だが、財政的なこともあるし、他の振興センターの改修もある。全体の状況を見ながら長期総合計画の実施計画を検討していきたいと考えている。

それから、中心市街地のあり方だが、広島県立大学の学生の活用や国営公園の観光客の誘導がまだまだできていないので対策が必要である。

われわれは自治振興区の皆さんが訴えることに耳をふさいでいるわけではない。昨年エレベーターを設置したときも、もう少し我慢をして欲しいという思いもあったが、皆さんの思いを尊重して整備させていただいた。このようにわれわれは皆さんの声に耳を傾けているし、皆さんと一緒に政を進めて行きたいと考えている。今後ともご協力をお願いしたい。これからも、庄原市政に様々な意見を寄せていただきたい。